

阪神、トルコ、台湾地震の前兆比較と電磁パルス強度の定量的評価

Earthquake precursors in Kobe, Turkey and Taiwan and Estimation of SEMS intensity

池谷 元伺[1]

Motoji Ikeya[1]

[1] 阪大・理・宇宙地球

[1] Earth and Space Sci. Osaka Univ.

<http://pumice.ess.sci.osaka-u.ac.jp>阪神、トルコ、台湾地震の前兆比較
評価

と電磁パルス強度の定量的

池谷元伺、佐藤英夫、Ulku Ulusoy, 石 同生

(阪大 理、Hacettepe 大 物理工、台湾地調)

昨年のトルコ・イズミット地震 (M7.4) と台湾 921 地震 (M7.7) の被災地を訪ね、被災者から直接に前兆証言の聞き取り調査を行った。阪神震災、イズミット地震、台湾 921 地震の前兆事例について紹介し、いずれも簡単な電磁現象として実験で再現できることを示す。参考：池谷元伺、地震の前、なぜ動物は騒ぐのか (日本放送出版協会、1998)

阪神、トルコ、台湾地震の前兆比較
評価

と電磁パルス強度の定量的

池谷元伺、佐藤英夫、Ulku Ulusoy, 石 同生

(阪大 理、Hacettepe 大 物理工、台湾地調)

Earthquake precursors in Kobe, Turkey and Taiwan and Estimation of SEMS intensity.

M. Ikeya, H. Sato, U. Ulusoy and D. Shih

(Sci. Osaka Univ., Phys. Hacettepe Univ. and Taiwan GS)

昨年のトルコ・イズミット地震 (M7.4) と台湾 921 地震 (M7.7) の被災地を訪ね、伝聞を避け、経験として「地震の前の普段と変わった」を被災者から直接に聞き取り調査を行った。トルコでも地震発光、動物の異常行動、家庭電化製品の誤動作の報告があった。

トルコの調査では、集められて証言については外部に出さぬように注意した。証言者のほとんどは、アジアの地震前兆について知らなかった。台湾についてはアジアの伝承や新聞報道で前兆について知られていた。阪神震災、イズミット地震、台湾 921 地震の前兆事例について紹介し、いずれも簡単な電磁現象として実験で再現できることを示す。また、これらの前兆証言と電磁パルス実験から推定した地震電磁パルスについて定量的に比論する。ビデオ設備があれば、電磁パルス実験をビデオで紹介したい。

震央地域では 25% ほどの人々は、何らかの異常を目撃し、震央から離れるとピンクの夕焼けなどの広域に現れる現象のみになり、その数も 5% にならない。さらに、動物の異常行動については、騒いだ種や行動もすべての地震で似ており、電磁パルスにたいする反応と同じである。

地震の前兆 (宏観) 現象は、市民の報告ゆえに後で地震と関連づける認識の錯誤も含まれる可能性を否定できないが、ほとんどが震央に強い電荷、低周波の電磁波が現れたとすると説明できる。したがって、火の玉の発生と同じような、大地震に伴う希な電磁現象の側面といえる。

今後は定量的な電磁パルスの観測と発生メカニズムの解明が問題になる。

参考：池谷元伺、地震の前、なぜ動物は騒ぐのか (日本放送出版協会、1998)